

低誘電損失アルミナセラミックス (A995LD)

プラズマを用いる装置 (CVD, エッチャー) において、以下の様な症状にお困りではありませんか？

- ・高出力を掛けないとレートが上がらない。
- ・個々の装置で同じ出力でレートが安定しない。
- ・チューニングに手間が掛かる。
- ・プラズマにムラが出てしまう。

これらの症状の原因の一つとして、セラミックス部材の高誘電損失と不安定化が考えられます。

(株)NTKセラテックではプラズマ装置に最適化したセラミックス (A995LD) をご用意しました。

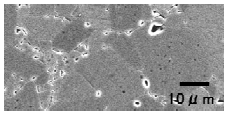
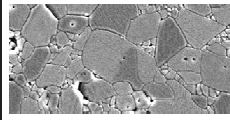
誘電損失を低く安定化することにより、優れた効果を発揮します。

- ・パワーロス を低減することによる省電力化
- ・レートの安定化
- ・チューニングの省力化
- ・プラズマの分散防止

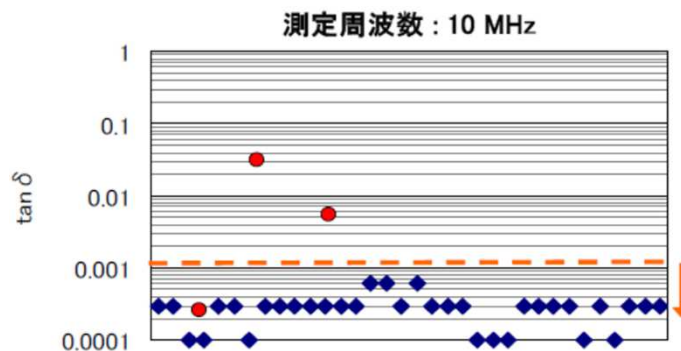
A995LDを用いることにより装置の省力化に大きく寄与します。

試作なども承りますので是非お試し下さい。

【電気的特性】

項目		材質	
		99.5% Al ₂ O ₃	
		LD	通常アルミナ
誘電率	1MHz	10	10
	3GHz	10	10
誘電正接 (×10 ⁻⁴)	1MHz	<5	<300
	3GHz	1	<30
拡大写真 (エッチング後)			

【ノーマルアルミナとA995LDの比較】



● ノーマルアルミナ (A995) ◆ A995LD

- ・A995LDは製造Lotの影響なく10⁻³以下で安定する。
- ・ノーマルアルミナは製造Lotで1~2桁ばらついてしまう。

営業部 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-6-2 菱華ビルディング 10階

TEL(03)3271-5061 Mail:nc-sales@niterragroup.com